

中村区豊臣学区

災害避難行動マップ

凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所
	地域防災協力事業所
	地下式給水栓設置場所
	応急給水栓設置場所
	下水道直結式仮設トイレ

指定緊急避難場所・指定避難所を確認しておきましょう

指定緊急避難場所：命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所（災害の種類ごとに異なる）
 指定避難所：自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間避難生活を送るためのところ

施設名称	災害種別	指定緊急避難場所				指定避難所
		洪水・内水氾濫	津波	地震の揺れ	大規模な火事	
① 豊臣小学校	2階以上	—	—	グラウンド	×	○
② 豊臣コミュニティセンター	2階以上	—	—	×	×	○
③ 中村生涯学習センター	2階以上	—	—	×	×	○
④ 中村スポーツセンター	2階以上	—	—	×	×	○
⑤ 中村小学校	2階以上	—	—	グラウンド	×	○
⑥ 県立中村高等学校	2階以上	—	—	グラウンド	×	○
⑦ 諏訪小学校	2階以上	—	—	グラウンド	×	○
⑧ 名古屋競輪場	2階以上	—	—	屋外	屋外	○
⑨ 中村公園	—	—	—	○	×	×



- 地域防災協力事業所一覧**
 災害時に地域に対して支援協力していただける事業所です
- ① (有)メイワタイヤサービス
資器材(バール、ジャッキ)の提供
 - ② 日比津石油(株) 本陣通給油所
資器材(消火器、バール、ジャッキ)の提供
 - ③ (有)高村電工社
資器材(バール、ジャッキ)の提供
 - ④ 此花運輸(株)
クレーン車、フォークリフト、ジャッキ、バール等の工具の提供
 - ⑤ 齋藤運輸(株)
資器材(バール、ジャッキ)の提供
 - ⑥ 中村自動車
資器材(ジャッキ、バール)の提供
 - ⑦ (株)丸茂繊維
井戸水の提供

★豊臣学区と諏訪学区との協定について★

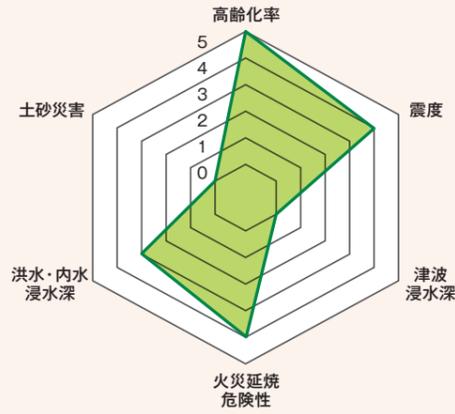
豊臣学区と諏訪学区は指定避難所の物資について、お互いに融通しあう協定を結んでいます。例えば、豊臣学区の皆さんが諏訪小学校へ避難したとき、諏訪学区の備蓄している食料を配布していただけます。後日、豊臣学区から諏訪学区へ利用した分の補充を行います。

豊臣学区の特性と災害リスク

- 豊臣学区は巨大地震が発生した場合、強い揺れと液状化が想定されています。津波の被害発生の可能性は低いと思われます。
- 庄内川から近く、また平坦な土地であるため広範囲にわたり洪水による浸水被害も想定されています。
- がけ地はありませんので、土砂災害は想定されていません。

	値	5段階
高齢化率	30.3%	5
震度	6強	4
津波浸水深	0m	0
火災延焼危険性	1,000~2,500棟未満	4
洪水・内水浸水深	1.0m~3.0m未満	3
土砂災害	警戒区域なし	0

【5段階の基準】 危険性 小 → 大
0 1 2 3 4 5



非常持出品の準備

いざという時すぐに持ち出せるよう、非常持出品を準備しておきましょう。

【備蓄品の例】災害に備えて用意しておきたいもの

7日分程度用意しましょう

- 命をつなぐために用意しておきたいもの
 - 保存がきく食品(自分がたべやすいもの)
 - 常備薬(持病の薬を含む)
 - 飲料水(ペットボトル)
1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品など(ゼリーなど)と組み合わせることで量を減らすことができます。
- 防災用品
 - 給水用のポリ容器・バケツ
 - ロープ
 - バール
 - のこぎり・工具など
- 燃料
 - カセットコンロ(予備のボンベ含む)
 - 固形燃料
- 寝具等
 - 毛布
 - 寝袋
 - キャンプ用テント
- 便利用品
 - ドライシャンプー

非常持出品の例

- ◆生活用品
 - 携帯ラジオ
 - ヘルメット・防災ずきん
 - 軍手
 - マスク
- ◆照明等
 - 懐中電灯(電池含む)
 - マッチ・ライター
- ◆食器類
 - はし・スプーン
 - 紙皿・紙コップ
- ◆医療用品
 - 三角せん
 - 包帯・ガーゼ
 - ばんそうこう
 - 消毒薬
 - ウェットティッシュ(ティッシュ)
 - お薬手帳
- ◆貴重品
 - 現金(小銭も必要)
 - 預(貯)金通帳の写し
 - 健康保険証・免許書の写し
 - カード類
 - 認印・印鑑など
- ◆衣料品
 - 衣料(着替え)
 - タオル(大小2種類)
- ◆その他(個人的に必要なもの)
 - 粉ミルク 生理用品
 - 紙おむつ 予備のメガネ・補聴器など
- ◆食器類
 - 筆記用具
 - 新聞紙
 - 携帯用トイレ
 - ゴミ袋
 - キッチン用ラップ
 - 使い捨てカイロ
 - 雨具
 - 手動携帯電話充電器

地震時の行動

揺れた!!



体勢を低くし、転倒によるケガから身を守る。



机の下等で落下物から身を守る。机がない時はカバン等で頭を守る。



揺れの最中は何もできない。自分の身を守ることに専念する。

提供: 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

おさまった



揺れがおさまったら、余震に備えドア・窓を開けて出入口を確保する。



テレビやラジオで正確な情報を取得する。デマ、流言に注意する。



出火しても炎が大きくなるまでには数分かかる。落ち着いて初期消火をする。

◎自宅の被害状況を確認したところ...

自宅では生活できない

避難所へ



近く、または安全に行ける指定避難所に避難する。指定避難所に行くときは、非常持出品を持参する。

自宅で生活できる

在宅避難



在宅避難でも備蓄物資等の不足に備えて、開設後の指定避難所で避難者登録をすると物資等の供給を受けられる。

避難生活

風水害時の行動

◎洪水・内水ハザードマップで予想浸水深を確認
→豊臣学区は3m未満が多い

事前確認

自宅が1階のみ

→自宅以外への避難が必要

自宅に2階以上がある

→自宅の安全な場所へ

いつ避難?

- 高齢者等避難(警戒レベル3)が発令されたら、高齢者・障害者など避難に時間がかかる方は避難を開始する。その他の方は避難の準備をする。
- 避難指示(警戒レベル4)が発令されたら、対象地域の方は全員避難行動をとる。

どこに避難?

- 指定緊急避難場所(小中学校棟の2階以上)
- 近くの安全な高さのある安全な建物など
- 自宅が安全な場合は、2階以上の安全な場所へ



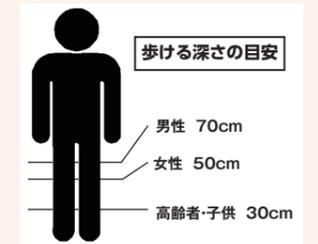
避難のころえ



避難はひもつき運動靴にする。長靴は中に水が入ると歩きにくくなる。



先導する人は、くぼみや溝を確かめるため、長い棒を杖にしながら歩く。



歩ける深さを超えての移動はかえって危険。無理せず周辺の高い建物等で救助を待つ。